

勉誠出版

日本中国学会 会員様対象 特別割引のご案内

全品 **20%OFF**

割引クーポンコード: 58cd63c41d
(期限: ~2020年12月31日)

謹啓

清秋の候、日頃より、弊社をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。
さて、この度、会員様対象の特別割引セールを行うことになりました。
当リストの新刊・近刊書籍をはじめ、勉誠出版タイトル全品が対象となります。
この機会にぜひともご購入をご検討くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

●ご注文について

- ・弊社ウェブサイトよりご注文を承ります。

<https://bensei.jp>

各種クレジットカード、paypal(クレジットカード・デビットカード)でのご決済が可能です。
ぜひご利用くださいませ。

割引クーポンコード: 58cd63c41d (期限: ~2020年12月31日)

こちらの10ケタの英数字を、必ずご入力ください!

未入力の場合、割引が適用されず、定価でのご請求となります。ご了承ください。

- ・メール添付、FAX、電話でもお受けしております。
ご氏名・ご住所・電話番号・公費/私費の区別・公費の場合は必要書類・宛名・日付の有無をお知らせください。
- ・**2000円以上のお買い上げで、国内全国送料サービス** (※ 海外への配送に関しては、実費を頂戴します)

***ウェブサイト以外の方法によるご注文の際は、
日本中国学会の会員であることをお知らせください。**

●ご連絡先

Mail info@bensei.jp
電話 03-5215-9021
FAX 03-5215-9025

訓点語学会、史学会、日本史学会、
その他の学会等を対象とした割引セールも開催中!!
【こちら】よりご覧いただけます。

より詳細な「研究書 新刊・近刊のご案内」が
【こちら】からダウンロードいただけます。

最新の出版総合目録は
【こちら】からダウンロードいただけます。



中国史書入門 現代語訳 北齊書

〔監修〕 氣賀澤保規 〔明治大学東アジア石刻文物研究所所長〕

池田恭哉 〔京都大学文学研究科准教授〕

岡部毅史 〔大阪市立大学学術情報課職員〕

〔訳者〕 梶山智史 〔明治大学・専修大学兼任講師〕

倉本尚徳 〔京都大学人文科学研究所准教授〕

田熊敬之 〔東京大学大学院人文社会科学系研究科博士課程〕

二十四史と呼ばれる中国歴代王朝史（正史）を、現代語訳で読む「中国史書入門」シリーズ。

異民族が中原に進出し、

群雄割拠した魏晋南北朝時代。

有名な蘭陵王・高長恭が活躍した

北齊の正史『北齊書』を現代語で読む。

本書の特色

- ◆原文と現代語訳が対照できる形。
- ◆皇帝の本紀を全篇訳出。各列伝の抄訳。
- ◆『北齊書』や「東魏・北齊」を理解するコラム、地図や事表、系図などの資料を収録。

目次

はじめに

第一部 帝室の軌跡

第一章 帝紀

神武帝(上)、文襄帝、文宣帝、廢帝、孝昭帝、武成帝、後主、幼主

第二章 後宮伝

神武皇后、文襄元后、文宣李后、孝昭元后、武成胡后、後主斛律后、胡后、穆后

第三章 諸王侯伝

高祖十一王、文襄六王

第二部 人臣の列伝

第四章 群臣伝——東魏・北齊の勲貴たち

竇泰、尉景、婁昭(兄子婁叡、庫狄干(子庫狄士文、韓軌、潘樂、段榮(子段韶、段孝言)、斛律金(子斛律光、斛律羨)、孫騰、高隆之、司馬子如、賀拔允、蔡儁、韓賢、尉長命、王懷、劉貴、任延敬、莫多婁、高市貴、薛孤延、張瓊(子張忻、張遵業)、斛律光(子斛律光舉、子斛律孝卿、子劉世清)、堯雄(子堯賢、從父兄堯儉)、慕容紹宗、慕容儼

第五章 群臣伝——神武帝・文宣帝・文宣帝の謀臣・武將たち

高乾(弟高慎、高昂、高季式、封隆之(子封子繪、從子封孝琰、封孝琰)、李元忠(子李孫、族弟李密、宗人李暉、族叔李景遷、盧文偉(子盧恭道、孫盧詢祖、族人盧勇)、李義深(子李駒、孫李正遷)、魏蘭根、崔俊(子崔瞻、族叔崔景鳳、族子崔肇師、孫肇)、陳元康(子陳善、弟陳慙)、杜弼

第六章 群臣伝——東魏・北齊の文武百官たち

敬顯儒、破六韓常、元孝友、李渾(子李湛、弟李贄、族子李公遜、崔暹、高德政、崔昂、王昕(弟王暉)、陸法和、王琳、徐之才(子徐林、徐同卿、徐之範、楊愔、燕子獻、宋欽道、鄭顛)、裴讓之(弟裴讓之、裴讓之)、邢邵、魏收、辛術、元文遙、趙彥深、崔季舒、祖珽、尉瑾、唐邕、白建、暴顯、皮景和、暴連猛、元景安、獨孤水業、陽斐、盧潛、崔劼、盧叔武、陽休之、袁聿修、李稚廉、封述、源彪

第七章 學術伝

儒林伝序、顔之推

第八章 外戚伝・方伎伝・恩倖伝

外戚序、婁叡、胡長仁(從祖兄胡長養)、方伎序、由吾道榮、信都芳、宋景業、許遵、吳遵世、趙輔和、皇甫玉、解法選、魏寧、秦母懷文、張子信、馬嗣明、恩倖序、郭秀、和士開、穆提婆、高阿那肱、韓鳳、韓寶業、盧勒又、齊紹

コラム

『北齊書』編纂 ●「鄴城・晋陽」兩都制 ●北齊蘭陵王 ●文林館、『修文殿御覽』 侯景の乱 ●北齊仏教 ●西域胡人 ●北齊・北周の關係

資料編(北齊版図、事表、系図ほか) おわりに

本体予価 1,600円(+税)
A5判並製カバー装・約六五〇頁
二〇二〇年十二月刊行
ISBN978-4-585-29612-6 C0398

書名	中国史書入門 現代語訳 北齊書	部数	1部
著者	氣賀澤保規〔監修〕 池田恭哉・岡部毅史・梶山智史・倉本尚徳・田熊敬之〔訳〕	価格	本体予価6,000円(+税) A5判並製カバー装・約650頁 2020年12月刊行 ISBN978-4-585-29612-6 C0398
送料	ご送付先ご住所(通信欄)		

中国史書入門

現代語訳 隋書

ずい しょう

〔監修〕

中林史朗…大東文化大学文学部中国文学科教授

山口謠司…大東文化大学文学部中国文学科准教授

〔訳者〕

池田雅典…大東文化大学非常勤講師

大兼健寛…学校法人たばな学園、理学・作業名古屋専門学校専任講師

洲脇武志…実践女子大学、大東文化大学非常勤講師

田中良明…大東文化大学東洋研究所講師

本体四、二〇〇円(十税)
A5判並製カバー装・五二〇頁
二〇一七年五月刊行
ISBN978-4-585-29611-9 C0398

二十四史と呼ばれる中国歴代王朝史(正史)。

既に「史記」や「三国志」などは

全文が現代語訳されたものが出版されているが、

中でも日本と関係が深まりつつあった時代の史書、

「隋書」を取り上げて現代語訳を行った。

従来は日本に関連する事項や専門的記述のみが

現代語訳されることの多かった「隋書」から、その本質部分である

本紀(皇帝の伝記) 全文と諸列伝(人臣の伝記)を訳出。

本書の特色

◆原文と現代語訳が対照できる形。

◆皇帝の本紀全篇を中心に掲出した

列伝の全文を現代語訳。

◆「隋書」や「隋」という時代を

理解するためのコラム、

地図や官品表などの資料を収録。

第一部 帝室の軌跡

帝紀——高祖(上下)・煬帝(上下)・恭帝

后妃伝——獨孤皇后・宣華夫人陳氏・容華夫人蔡氏・煬帝蕭皇后

文四子伝——房陵王楊勇・秦孝王楊俊・庶人楊秀・庶人楊諒

コラム①「隋書」の成立 ● 洲脇武志

コラム② 隋の皇族たち ● 田中良明

第二部 人臣の列伝

劉昉・鄭譯——高祖を北周丞相として迎えた隋建国の発端

(附)元胄——高祖暗殺未遂事件

コラム③ 周隋禪讓 ● 池田雅典

李德林・許善心——南北朝から隋への移行期
コラム④ 隋に仕えた遺臣たち——姚察・顔之儀・顔之推 ● 洲脇武志

目次

高頴・蘇威・楊素——隋の礎を築いた宰相たち

(附)楊玄感——隋滅亡の序章

コラム⑤ 理想都市・大興城 ● 池田雅典

韓擒虎・賀若弼・達奚長儒・賀婁子幹・史萬歲・劉方

——隋の版図を築き支えた將軍たち(附)來護兒——煬帝期の將軍

宇文述・郭衍——煬帝立太子の立役者

虞世基・裴蘊・裴矩——煬帝の執政たち

コラム⑥「隋書」経緯志 ● 洲脇武志

宇文化及・司馬德戡・裴虔通・王充・段達——逆臣たち

芸術伝
コラム⑦ 隋の術数・災異 ● 田中良明

列女伝
資料(隋版図・官品表・事表・系図)
おわりに ● 山口謠司

書名	中国史書入門 現代語訳 隋書	部数	本体4,200円(+税)
	中林史朗・山口謠司〔監修〕 池田雅典・大兼健寛・洲脇武志・田中良明〔訳〕		A5判並製カバー装・520頁 2017年5月刊行 ISBN978-4-585-29611-9 C0398
ご送付先ご住所(通信欄)			

仏教の東漸と西漸

【アジア遊学251】

ぶつぎょうのとうぜんとせいぜん

荒見泰史 [編]

言語・思想・政治にみる
宗教の伝播と変容

仏教の伝播は、従来インドから中国を経て東アジアや東南アジアへと伝わる「東漸」に着目して論じられることが多かった。

しかし、東アジアの中心である中国で受容・昇華された仏教が中国から外部へと向かっていく方向性にも目を向けなければ、伝播の実態をつかむことはできない。

本書では中国への「東漸」の逆方向をイメージするため、この外部に向かう方向性を「西漸」と称している。

さまざまな儀礼や経典、文学、図像を取り上げ、各時代の広い社会層における信仰・宗教の伝播と継承、衝突と融合の実態を東漸と西漸の双方向から考察し、新しい文化史を構築する。

【編者紹介】

荒見泰史 (あらみ・ひろし)

広島大学大学院人間社会科学研究科教授。広島大学 Distinguished Professor。専門は中国文学、中国語学、敦煌学、仏教文学。主な著書に『仏教文学研究論集』(共編、復旦大学出版社、二〇〇四年)、『敦煌変文写本の研究』(中華書局、二〇一〇年)、『敦煌講唱文学写本研究』(中華書局、二〇一〇年)などがある。

【目次】

総論 仏教の東漸と西漸…荒見泰史

I ● 儀礼とそのことば

頌讃の文学…荒見泰史

志慕玄奘、独歩五天 — 唐五代宋初の讚と玄奘、義浄の讚…楊明璋

清代前期、媽祖信仰・祭祀の日本伝播とその伝承

— ヨーロッパの東アジア進出も視野に入れて…松尾恒一

II ● 尊像の造形と伝承

信仰における図像と継承

— 敦煌に見られる山と天界の図像を中心として…荒見泰史

五臺山騎獅文殊尊像群の東漸と西漸

— 五臺山・比叡山・敦煌の尊像群から…白須淨眞

III ● 経典と物語、その伝播

『賢愚経』の伝播…高井龍

『キツツキと獅子』説話の伝播と発展…梁麗玲

『仏母経』の流行から見る疑経の受容…岸田悠里

明代、南シナ海の高僧の活動と記憶

— 日本・中国大陸・東南アジアの宗教史跡をめぐって…松尾恒一

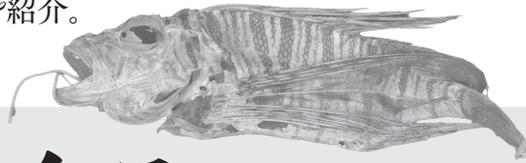


本体 二、八〇〇円(+税)
A5判並製カバー装・二五六頁
二〇二〇年九月刊行
ISBN978-4-585-22717-5 C1315

書名	部数
仏教の東漸と西漸 荒見泰史 [編]	本体 2,800円(+税) A5判並製カバー装・256頁 2020年9月刊行 ISBN978-4-585-22717-5 C1315
ご送付先ご住所 (通信欄)	

書物を集め、愛でた人々、そして、海を越えて伝えられた蔵書に秘められたドラマを描き出す。

日本古典籍はその残存状況の良さ、また、美麗且つ内容が豊富であることから、世界各地にコレクションとして伝存している。本特集では、欧米の著名なコレクションから、ハワイ大学、ホノルル美術館、アメリカ議会図書館、UCバークレー、ケンブリッジ大学、オックスフォード大学という名だたる所蔵機関の特色ある蔵書を紹介。



●特集

蔵書はめぐる

海外図書館の日本古典籍コレクション

個人蔵書のゆくえ◎横山學

「東西の十字路」楽園ハワイの中の古典籍とその来歴
 ——ハワイ大学マノア校図書館アジアコレクション部日本文庫から◎バゼル山本登紀子
 古典籍もART——ホノルル美術館収蔵和古書と作品整理について◎カワイアエア幸代
 米国議会図書館日本古典籍コレクションの来歴と「北方資料」◎伊東英一／キャメロン・ペンウェル
 太平洋を渡った日本古典籍
 ——カリフォルニア大学バークレー校C. V.スター東アジア図書館コレクション◎マルラ俊江
 蔵書を通して見る日本との出会い
 ——オックスフォード大学ボドリアン図書館の和古書コレクション◎イズミ・タイトラー
 アーネスト・サトウと武家故実資料
 ——ケンブリッジ大図書館古典籍コレクションの来歴の一端をさぐる◎小山騰

【連載】書物学ことはじめ

【新連載】書籍はどう動いたのか
 ——近代書籍流通史料の世界◎磯部敦
 書物の声を聞く 書誌学入門◎佐々木孝浩
 江戸時代の古文書の読み方◎白川部達夫
 愛書家としての魯迅◎瀧本弘之
 西洋古書の遠近法◎雪嶋宏一
 英国愛書家の系譜◎高宮利行
 【特別寄稿】
 小説の連続性と英詩の役割◎野網摩利子



BIBLIOLOGY 書物学 18

古今東西の知の宝庫に分け入り、
 読書の楽しさを満喫する！

本体一、八〇〇円＋税
 B5判並製・二二〇頁（フルカラー）
 二〇二〇年七月刊行
 ISBN978-4-585-20718-4 C1000

書名	部数
書物学 18 蔵書はめぐる 海外図書館の日本古典籍コレクション 編集部[編]	本体1,800円(+税) B5判並製・120頁(フルカラー) 2020年7月刊行 ISBN978-4-585-20718-4 C1000
ご送付先ご住所（通信欄）	

儒教儀礼と 近世日本社会

松川雅信 [著]

閻齋学派の『家礼』実践

近世日本にとって儒教儀礼とは
何であったのか――

科挙のような儒教的制度を持たない一方、
仏教の葬儀や祭祀が行われていた近世日本社会。
そうした社会を生きる儒者たちは、

殊に東アジアで絶大な影響力を誇った
『家礼』記載の喪祭礼を、どのように捉え、

そしていかにして実践しようとしたのか。
長期間にわたってこの問題と真摯に向き合い続けた、

山崎闇齋を学祖とする閻齋学派に着目、
思想と社会とが様々に交錯する

現場に立ち入ること、
これまで見落とされてきた

近世日本儒教の新しい一面を照らし出す。

〔著者プロフィール〕

松川雅信 (まつかわ まさのぶ)

日本学術振興会特別研究員。専門は日本思想史、日本近世史。
主要論文に、「近世儒者の神代巻批判と『神道』上古」―鈴木貞斎に即して―(山下久夫 斎藤英喜編『日本書紀1300年史を問う』思文閣出版、二〇二〇年)、「近世日本の儒教儀礼と儒者」―東アジア思想史のための試論的考察―(桂島宣弘ほか編『東アジア 遭遇する知と日本』トランスナショナルな思想史の試み『文理閣』二〇一九年)、「稲葉黙斎の喪礼実践論―徂徠学批判・仏教認識に注目して―」(第一回日本経済思想史学会賞受賞)、『日本思想史学』五
十号(二〇一八年)などがある。

〔目次〕

序章

第一部 浅見綱斎とその周辺

第一章 「此方ナリ」の『家礼』実践
―基軸としての「本」と「文」―

第二章 「物ナリ」の思考―「格物」と喪礼実践

第三章 「心ノ理ナリ」による来格―鬼神論と祭礼実践

第二部 閻齋学派の地域展開と『家礼』実践

―尾張と上総を中心に―

第四章 尾張藩の学問所と『家礼』

―蟹養斎による喪祭礼実践の教導

第五章 寺請・寺檀体制下の『家礼』実践

―中村習斎と尾張崎門派

第六章 「反徂徠」と『家礼』実践―稲葉黙斎と上総道学

終章

あとがき
索引

本体 10,000円(+税)
A5 判上製カバー装・440頁
ISBN 978-4-585-21056-6 C3010
2020年7月刊行

書名	部数
儒教儀礼と近世日本社会 閻齋学派の『家礼』実践 松川雅信 [著]	部
本体10,000円(+税) A5判上製カバー装・440頁 ISBN978-4-585-21056-6 C3010 2020年7月刊行	部
ご送付先ご住所(通信欄)	

新羅中古期の史的的研究

武田幸男 [著]

本体 12,000円(+税)

A5 判上製カバー装・568頁
ISBN 978-4-585-22278-1 C3022
2020年7月刊行

古代東アジアにおける国際関係を考える上で、

朝鮮半島に展開した各国の動向は見逃すことのできない大きなテーマである。

ただし、残存史料が断片的であるなど困難も多く、その研究構築は容易ではない。

本書は、日本とも関連の深い、朝鮮半島の古代史で、主導的役割を担った新羅について、

とくに飛躍的な発展を見せた新羅中古期(五一四〜六五四年)を中心に考究。

近年、陸続と発見された各種の新羅碑文を、諸史料とともに精緻に読み込むことにより、

当時の激動する東アジアの国際関係における、新羅の史の実態とその展開過程を明らかにする。

金石文・文献史料双方に精通し、
朝鮮古代史の先達として活躍する泰斗による待望の一書。

【著者プロフィール】

武田幸男(ただだ・ゆきお)

東京大学名誉教授。専門は朝鮮前近代史。著書に『高麗史日本伝』上・下(岩波書店、二〇〇五年)、『広開土王碑との対話』(白帝社、二〇〇七年)、『広開土王碑墨本の研究』(吉川弘文館、二〇〇九年)などがある。

【目次】

序言

第一編 新羅官位制の研究

第一章 新羅・法興王代の律令と衣冠制

第二章 金石文資料からみた新羅官位制

第三章 新羅官位制の成立

第四章 新羅官位制の成立に関する覚書

第二編 新羅「教事碑」の研究

第一章 浦項・中城里碑の研究

第二章 迎日・冷水里碑の立碑年次と「王教」主体

第三章 蔚珍・鳳坪碑の「教事」主体と刑罰「執行」

第四章 真興王代における新羅の赤城経営

第五章 丹陽・赤城碑の「教事」主体と「教事」内容

第三編 蔚州書石の研究

第一章 顔のない人物像の彼方

第二章 「乙巳年原銘」と「己未年追銘」の研究

第三章 蔚州書石「癸巳六月廿二日銘」の研究

第四章 新羅・沙喙部集団の書石谷行

第四編 新羅支配体制の研究

第一章 新羅六部とその展開

第二章 新羅の法幢軍団とその展開

第三章 新羅の二人派遣官と外司正

第四章 私の新羅史探求の旅

——新羅地方検察官の系譜

——新羅の国号・王号・王権とタロの系譜

あとがき

索引

書名	部数
新羅中古期の史的的研究 武田幸男 [著]	部
本体 12,000円(+税) A5判上製カバー装・568頁 ISBN978-4-585-22278-1 C3022 2020年7月刊行	
ご送付先ご住所(通信欄)	

宋代中国都市の 形態と構造

伊原 弘 [著]

古地図と絵図を片手に
現代にいきづく宋代都市へわけいる――

【目次】

はじめに

総論 中国中世の都市景観――宋代江南都市の実像を求めて

第I部 都市地図の解析と構造

第一章 唐宋時代の浙西における都市の変遷
――『宋平江図』解説作業

第二章 江南における都市形態の変遷
――宋平江図解析作業

第三章 宋・元代の南京城――宋代建康府復元作業

第四章 『加摹乾隆京城全図』を論ず
――「法源寺」界限を手がかりに

第II部 清明上河上の風景界

第五章 張択端『清明上河図』と宋都開封の風景

第六章 『清明上河図』と北宋末期の社会

第七章 描かれた北宋末期華北の聚落の景観
――かさねて『清明上河図』をよむ

第III部 宋代都市社会の景観

第八章 泉州の異邦人と外来宗教

第九章 都市臨安における信仰を支えた庶民の経済力
――石刻史料の解析を事例に

第一〇章 宋代台州臨海県における庶民の経済力と社会
――寺観への寄付金一覧表から

第十一章 河畔の民――北宋末の黄河周辺を事例に

後記
初出一覧
索引



宋代は中国の経済・文化が大きく発展した時代。その結果、都市の構造や人々の生活も変化した。遺された「宋平江図」、「清明上河図」、「乾隆京城全図」などの史料を丹念に読み込み、唐と宋のあいだに横たわる画期を描き出す。

【著者プロフィール】……

伊原 弘(いはら・ひろし)

城西国際大学国際人文学部講師。
中国都市史、社会史を中心に旺盛な研究・執筆活動を展開。

本体 **4,500**円(+税)
A5判上製カバー装・360頁
ISBN 978-4-585-22069-5 C3022
2020年6月刊行

<p>書名</p> <p>宋代中国都市の形態と構造</p> <p>伊原 弘 [著]</p>	<p>部数</p> <p>本体 4,500円(+税) A5判上製カバー装・360頁 ISBN978-4-585-22069-5 C3022 2020年6月刊行</p> <p>部</p>
<p>ご送付先ご住所(通信欄)</p>	

古代の日本と 東アジア 人とモノの交流史

鈴木靖民 [著]

「目次」

はじめに

I 王権の始原・交易の力

- 1 加耶史の展開と倭
- 2 加耶の形成と対外交流——一〜三世紀
- 3 倭国の形成と加耶——四〜五世紀
- 4 加耶文化の北方的要素
- 5 弥生後期、根塚遺跡と東アジア

II 中心化する周辺・あらがう周辺

- 1 広開土王碑にみえる「倭」
- 2 五世紀、高句麗の王陵・祭祀・王統譜
——集安高句麗碑小考
- 3 五世紀の倭国と東アジア
- 4 反正天皇(珍)の人物像——記紀、宋書を通して

III 外交の形・移動する文化

- 1 新羅の倭典と上表
- 2 半跏思惟仏像をめぐる倭と百済・新羅——七世紀
- 3 古代日本の文化形成に寄与した朝鮮の人びと
——七世紀を中心として
- 4 古代日本列島の遠距離交流と文化伝播

IV 交流する国家・媒介する中国

- 1 日本古代国家のなりたちと東アジアの交流
- 2 『古事記』『日本書紀』にみえる女性像
——古代国家と周縁
- 3 渤海国の首領と交易
——史的特質をめぐって
- 4 シルクロード・東ユーラシア世界と古代日本

おわりに
索引

東アジアの構造はいかに形成され、
展開したのか——

文献資料、最新の考古学的成果を博搜し、
地政学的そしてヒト・モノ・文化の交流の視点より
一世紀から十世紀におよぶ
日本および東アジアの歴史的展開を
浮き彫りにする。
長年にわたり東アジア古代史研究を牽引する
碩学による最新論集。

「著者プロフィール」

鈴木靖民 (すずき・やすたみ)

横浜市歴史博物館館長、國學院大学名誉教授、淑徳大学人文学部客員教授。

文学博士。専門は日本古代史・東アジア古代史。

主著に『比較史学への旅——ガリア・ローマから古代日本へ』(勉誠出版、二〇二二年)、『梁
職貢図と東部ユーラシア世界』(編著、勉誠出版、二〇一四年)、『日本古代の周縁史』(岩
波書店、二〇一四年)、『相模の古代史』(高志書院、二〇一四年)、『古代日本の東アジア
交流史』(勉誠出版、二〇一六年)、『日本古代交流史入門』(共編著、勉誠出版、二〇一七
年)などがある。

本体 **10,000**円(+税)
A5 判上製カバー装・472 頁
ISBN 978-4-585-22279-8 C3020
2020 年 7 月刊行

書名	部数
古代の日本と東アジア 人とモノの交流史 鈴木靖民 [著]	本体 10,000 円(+税) A5判上製カバー装・472頁 ISBN978-4-585-22279-8 C3020 2020年7月刊行
ご送付先ご住所 (通信欄)	

小島道裕・田中大喜・荒木和憲〔編〕 国立歴史民俗博物館〔監修〕

古文書の様式と国際比較

東アジア古文書学構築のために――

いまを生きるわれわれに歴史の一場面を伝えてくれる史料、古文書。そこに記された内容のみならず、

文字の配置や大きさ、料紙の選択、印の位置など、「モノ」として残るその形もまた、

古文書の持つ様々な意味と機能を伝える貴重な情報源である。古代から近世にいたる日本の古文書の様式と機能の変遷を、通史的・総合的に論じ、

また、文書体系を共有するアジア諸国の古文書と比較。日本の古文書の特徴を浮き彫りにし、東アジア古文書学の構築のための基盤を提供する画期的成果。

二〇一八年秋に国立歴史民俗博物館にて開催され、SNS等でも大きな話題となった企画展示「日本の中世文書——機能と形と国際比較」。その関連シンポジウムおよびフォーラムを一书にまとめた貴重な一冊。歴史ファン・古文書ファン待望の一冊。

掲載図版120点超!
カラー口絵では、
古文書の様式を
分かりやすく図解。

〔目次〕

《カラー口絵》図解でわかる文書様式

はじめに……………小島道裕

第1部 日本の文書様式とその変遷

1 古代の文書と中世への展開

古代日本における「文書」の誕生……………小倉慈司
「詔勅」における口頭伝達の役割……………仁藤敦史
中世日本における書状の広がり……………佐藤雄基
——古代書状論「公文書化」論を中心にして……………佐藤雄基

2 中世文書の諸相

将軍の文書と武士団の文書……………田中大喜
寺院文書の特徴……………横内裕人
——祭議文書の形成とその背景……………横内裕人

3 戦国大名の文書と近世への展望

戦国大名の文書と天下人の文書……………金子 拓
戦国大名の印判状について……………金子 拓
——北条氏の「虎の印判」は東アジア標準か……………小島道裕

第2部 東アジアの古文書と日本の古文書

1 韓国の古文書をめぐって

朝鮮王朝の国王文書……………川西裕也
日本と韓国の署名花押比較……………朴 竣鎬(稲田奈津子訳)
朝鮮時代における私人間の契約文書……………朴 竣鎬(稲田奈津子訳)
——様式と特徴を中心に……………文 叔子(稲田奈津子訳)
東アジア古文書の中の画指……………三上晋孝

2 中国の古文書をめぐって

中国古文書学概論……………三上晋孝
——公文書の様式研究を例に……………黄 正建(江川式部訳)
明清時代の「信牌」……………阿 風黄 素英訳)
日本古代における中国文書様式の受容と変容……………丸山裕美子

3 東アジアの文書と外交の文書

中世日本の往復外交文書……………荒木和憲
——十五、十六世紀の現存例を中心として……………荒木和憲
安南日越外交文書の様式と伝来……………藤田励夫
イルハン朝(モンゴル支配期イラン)の公文書……………四日市康博

総括 文書実践としての中世文書史……………高橋一樹
あとがき……………小島道裕
執筆者・翻訳者一覧

本体 **7,800**円(+税)
A5判上製カバー装
カラー口絵16頁+本文416頁
ISBN 978-4-585-22272-9 C3020
2020年3月刊行

書名	部数
古文書の様式と国際比較	本体7,800円(+税)
小島道裕・田中大喜・荒木和憲〔編〕 国立歴史民俗博物館〔監修〕	A5判上製カバー装 カラー口絵16頁+本文416頁 ISBN978-4-585-22272-9 C3020 2020年3月刊行

ご送付先ご住所(通信欄)

杜甫研究年報 第三号

日本杜甫学会 編

「詩聖」杜甫。

その詩は、それ以前の詩の総括であるとともに、以後の中国詩の出発点でもある。日本においては、五山の僧の崇敬、芭蕉の傾倒があり、明治以後も、中江兆民・島崎藤村・正岡子規を始め、知識人・国民の間で、その親愛の念は一貫して揺るがないものだった。漢文教育においても、杜甫の詩は教材の中で重要な位置を占めてきた。世界における杜甫への関心を見つめつつ、変転する時の中で無窮の未来に向かって杜甫研究を発展させ続ける一冊。

目次

- 論文 ● 杜甫の涙 ◎ 下定雅弘
論文 ● 杜甫の七言古詩における双声疊韻の配列について——鮑照「擬行路難十八首」と比較しつつ ◎ 丸井憲
論文 ● 同羅逃亡事件と杜甫長安「連行」のいきさつ ◎ 謝思煒 (鍾卓瑩・紺野達也 訳)
論文 ● 杜甫詩の真偽——「佚詩」五篇などについて ◎ 後藤秋正
論文 ● 杜甫と高適の制挙受験に関連する詩について——奉贈の排律詩を中心に ◎ 田中京
研究概況及び文献収録 ● 中国大陸新世紀杜甫研究綜述 (二〇〇〇～二〇一八) 下 ◎ 劉寧 (佐藤浩一 訳)
研究概況及び文献収録 ● 日本における杜甫研究集録 (二〇一八) ◎ 大橋賢一・加藤聰・紺野達也
【紹介】 ● 松原朗 (編) 『杜甫と玄宗皇帝の時代』 ◎ 加藤聰
杜甫学会会則／彙報／編集後記

本体 二,〇〇〇円(+税)

A5判並製・一二二頁

二〇二〇年五月刊行

ISBN978-4-585-29443-6 C3098

書名	部数
杜甫研究年報 第三号 日本杜甫学会 編	本体 2,000円(+税) A5判並製・112頁 2019年4月刊行 ISBN978-4-585-29443-6 C3098
ご送付先ご住所 (通信欄)	

描かれたマカオ

ダーウェント・コレクションにみる東西交流の歴史

貴志俊彦・朱益宜・黄淑薇 [編著]

本体 **22,000** 円(+税)

A4判上製カバー装
238頁(うちカラー120頁)
2020年4月刊行
ISBN978-4-585-22262-0 C3022

マカオ返還20周年。
失われたマカオの極彩色の姿がフルカラーでよみがえる!

ポルトガルの植民地、東西貿易の継承地、キリスト教布教の拠点として栄え、
いまや教会や歴史遺産、カジノやモータースポーツで世界的観光地となったマカオ。
アヘン戦争などによって世界史がおおきく揺れた18～19世紀のマカオを描く版画・水彩画・写真などから当時のマカオの光と影を読み解くとともに、その未来像を探る。

図版**150点以上!**
全編、日英併記

目次

巻頭言

地図

◆Part 1: 図版

資料解題…●黄淑薇

I.海と都市/II.人びとの生活/III.外国人の表象/IV.宗教/V.香港/VI.広東

◆Part 2: 解説

第1章 ダーウェント・コレクションと私…●ブライアン・カスバートソン

第2章 マカオの歴史と重要性
—香港および中国との関係という視点から…●朱益宜

第3章 近代の日本とマカオ、そしてポルトガル
—香港および中国との関係という視点から…●岡美穂子

第4章 19世紀のマカオの暮らし…●グラッサ・パシエコ・ジョルジェ

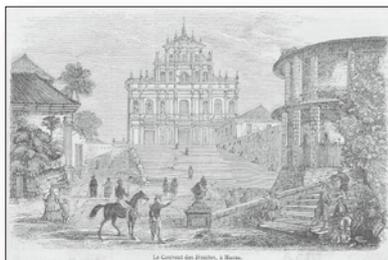
第5章 アジアにおけるキリスト教とマカオ…●朱益宜

結語 絵画から写真へ
—ダーウェント・コレクションの意義とマカオ・イメージの変容…●貴志俊彦

◎マカオ史年表(18-19世紀)…●貴志俊彦、岡美穂子、朱益宜

◎ブックガイド…●貴志俊彦、岡美穂子、朱益宜

◎作品リスト…●黄淑薇・貴志俊彦



編著者プロフィール

貴志俊彦(きし・としひこ)
京都大学東南アジア地域研究研究所・教授。専門は20世紀の東アジア史。編著書に『古写真・絵葉書で旅する東アジア150年』(共編著、勉誠出版、2018年)、『京都大学人文科学研究所蔵華北交通写真資料集成』全2巻(共編著、国書刊行会、2016年)、『満洲国のビジュアル・メディア—ポスター・絵はがき・切手』(吉川弘文館、2010年)など多数。

朱益宜(Cindy Yik-yi Chu) 香港浸会大学歴史系・教授。

黄淑薇(Suk Mei Irene Wong)
香港浸会大学図書館・高級助理館長。

書名	部数
描かれたマカオ ダーウェント・コレクションにみる東西交流の歴史 貴志俊彦・朱益宜・黄淑薇 [編著]	本体 22,000 円(+税) A4判上製カバー装・238頁(うちカラー120頁) 2020年4月刊行 ISBN978-4-585-22262-0 C3022
ご送付先ご住所(通信欄)	

上海におけるプロテスタント

現代中国の都市と宗教空間をめぐる変遷

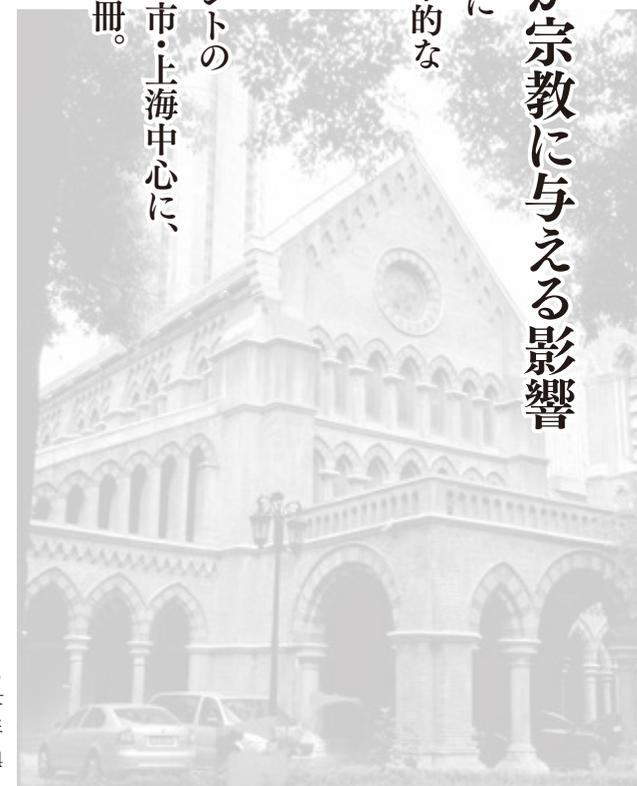
村上志保 [著]

急速な経済発展と社会の変化が宗教に与える影響

国家によって宗教が定義・組織化されている中国において、プロテスタント教会および信者たちの日常的な宗教生活はいかに営まれているのか？

十九世紀から現在までの中国政府による宗教政策をまとめるとともに、

一九九〇年代以降急増・発展を見せるプロテスタントの宗教活動・信仰の状況を、中国を代表する国際都市・上海中心に、著者によるフィールドワークを踏まえて考察した二冊。



序章

第一部 上海プロテスタントにおける宗教空間をめぐる歴史的背景

第一章 一九世紀半ばから一九四九年までにおける上海プロテスタントの宗教空間の形成

第二章 共産党政権下における宗教空間の再編成

第二部 二〇〇〇年代以降の上海プロテスタントにおける宗教空間

第三章 二〇〇〇年代以降の宗教空間と宗教活動 1——公認の宗教空間

第四章 二〇〇〇年代以降の宗教空間と宗教活動 2——非公認の宗教空間

第五章 宗教空間をめぐる人々の実践

第六章 都市政策による宗教空間の変化

終章

あとがき

参考文献

索引

村上志保(むらかみ・しほ)

一橋大学大学院社会学研究科総合社会科学専攻
博士後期課程単位取得満期退学。博士(社会学)。
明治学院大学キリスト教研究所協力研究員。
専門は社会人類学、中国宗教研究。
主論文に「中国における国際教会の拡大——上海
と北京の状況を中心に」(『立命館国際地域研究』
第47号、二〇一八年三月)などがある。

本体6,000円(+税)

A5判上製カバー装・320頁
2020年5月刊行

ISBN978-4-585-21055-9 C3014

書名	部数
<p>上海におけるプロテスタント</p> <p>現代中国の都市と宗教空間をめぐる変遷</p> <p>村上志保 [著]</p>	<p>本体6,000円(+税)</p> <p>A5判上製カバー装・320頁</p> <p>2020年5月刊行</p> <p>ISBN978-4-585-21055-9 C3014</p>
ご送付先ご住所 (通信欄)	

国宝

漢書楊雄伝 第五十七

かんじよ ようゆうでん

本体二五、〇〇〇円(+税)

A3判変形上製・函入特装本・一〇八頁

二〇一九年十二月刊行

ISBN978-4-585-28046-0 C3080

京都国立博物館 [原本所蔵・編]

石塚晴通 北海道大学名誉教授
東洋文庫研究員

上杉智英 京都国立博物館
美術室研究員

[解説]

小助川貞次 富山大学教授

現存最古、唯一の唐代写本を

原寸原色復元。

筆跡・紙質・多色詳密な訓点を再現。

目次

序文

影印

解題

書誌解題……上杉智英

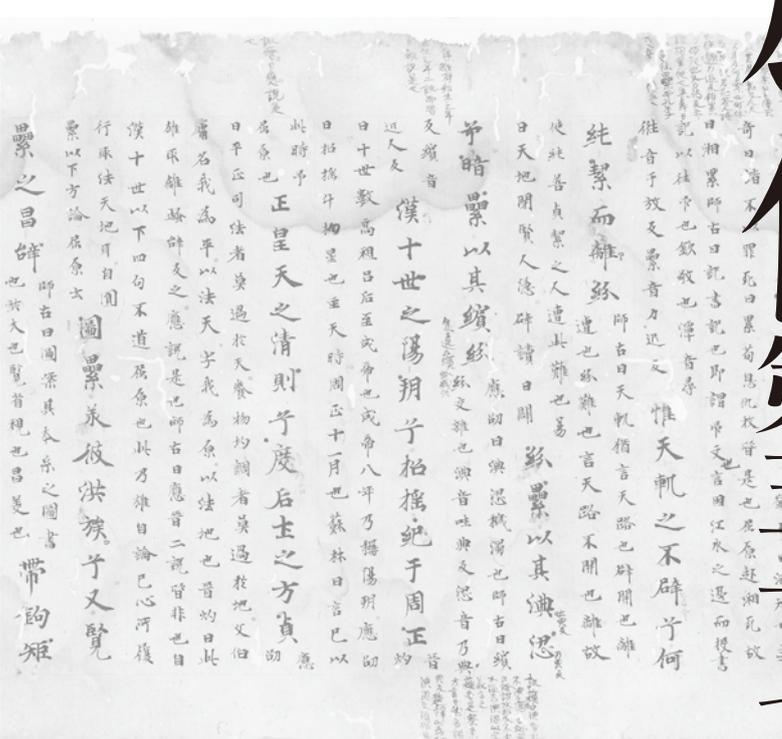
本文・訓点解題……石塚晴通・小助川貞次

本書の特長

●漢書楊雄伝の現存最古、唯一の唐代写本(京都国立博物館所蔵)の全編を原寸・原色にて影印。

●高精細デジタル撮影により訓点・筆勢・筆致・紙質形状・美観など文化財の現在の状況を余すところなく再現。

●上杉智英・石塚晴通・小助川貞次による新知見を含む解題を付し、国宝『漢書楊雄伝』の文化史的位置づけを明らかにした。



*『漢書』とは……

中国の正史、二十四史の一つとされる。一〇〇巻。後漢の文人、班固(三二〜九二)の撰。前漢の高祖より王莽の地皇四年までの二二九年間(紀元前二〇六〜後二三)の史事を紀伝体にて記す断代史。帝紀一二巻・表八巻・志一〇巻・列伝七〇巻より成る。

*「楊雄」とは……

字は子雲。漢の蜀郡(現・四川省)成都の人。前漢時代末期の文人、学者、哲学者。揚雄とも。若い頃から辞賦作りに没頭し、都・長安に登ると官途に就いた。「甘泉賦」「長揚賦」など優れた辞賦を残し、その後は、学者として「太玄経」「法言」「方言」などの著作を世に輩出した。

書名

国宝 漢書楊雄伝 第五十七

京都国立博物館 [原本所蔵・編]
石塚晴通・上杉智英・小助川貞次 [解説]

通信欄

部数

本体 35,000円(+税)

A3判変形上製・函入特装本・108頁
2019年12月刊行
ISBN978-4-585-28046-0 C3080

部

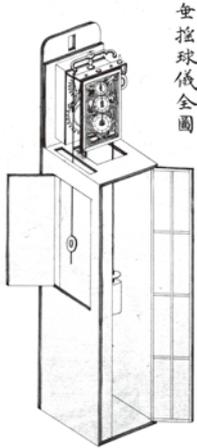
勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX 03-5215-9025

医学・科学・博物 東アジア古典籍の世界

陳捷 [編]



全控球儀全圖



全體脈管圖

知の沃野をひらく

東アジアの知の遺産、古典籍。

なかでも**医学・本草学・農学・科学**に関する書物は、
人びとの社会・生活に密着するものとして
広く流通・展開し、大きな一群をなしている。

これまで総合的に論じられることのなかった
東アジアにおける**情報伝達と文化交流の世界を、
地域・文理の枠を越えて考究する画期的論集。**

編者略歴

陳捷(ちん・しょう)

1963年生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科教授。

専門は中国古典文献学・書物交流史。

主著に『明治前期日中学術交流の研究—清国駐日公使館の文化活動』(汲古書院、2003年)、『人物往来と書籍流転』(中華書局、2012年)、『日韓の書誌学と古典籍』(共編、アジア遊学184、勉誠出版、2015年)などがある。

目次

まえがき

第一部 医学

- 日中韓越の医書流通と医学体系の形成●真柳 誠
- 『福田方』『悲田方』の構成と復元の可能性●浦山きか
- 日本における中国舌診書『敖氏傷寒金鏡録』の受容●梁嶸(黄昱・訳)
- 東アジア伝統医学の真髄
 - 朝鮮許浚の『東医宝鑑』●朴現圭(黄昱・訳)
- 国立公文書館所蔵の朝鮮通信使の医学筆談●梁永宣・李敏(小野泰教・訳)
- 崔漢綺が読んだ西洋医学書
 - Hobson(合信)の医書と崔漢綺の『身機踐験』●金哲央
- 清末の漢文西洋薬学書におけるアヘンの記述について●小野泰教

第二部 科学

- 『新製靈台儀象志』の受容●吉田 忠
- テキストの鏡影
 - 抜粋本と清初の暦算学●祝平一(高津 孝・訳)
- 18世紀朝鮮の実学者洪大容の『劉鮑問答』
 - 西洋科学知識受容の一断面●任正嫻
- 葛飾北斎『唐土名所之絵』と中国地図の受容●大澤顯浩

第三部 博物

- 経学註釈と博物学の間
 - 江戸時代の『詩経』名物学について●陳捷
- 近世中国知識人の博物学の再構築
 - 方以智『通雅』と『物理小識』を中心に●廖肇亨(千賀由佳・訳)
- 交錯する視線—南西諸島の博物学●高津 孝
- 青蒿と黄花蒿の名物学的研究
 - ラテン名比定の問題を中心に●久保輝幸

第四部 人と書物

- 平賀源内伝の再検討
 - 『平賀実記』を中心に●福田安典
- 洋学者・柴田収蔵と江戸の本屋●平野 恵
- 近世後期における地方知識層の書物交流
 - 伊藤忠岱の書写活動を中心として●清水信子
- 医籍専売書肆英蘭堂島村利助について●鈴木俊幸

あとがき

書 名	部 数
医学・科学・博物 東アジア古典籍の世界 陳捷 [編]	部
本体12,000円(+税) A5判上製カバー装・456頁 2020年2月刊行 ISBN978-4-585-20072-7 C3000	
ご送付先ご住所 (通信欄)	

『歴史がおわるまえに』(亜紀書房刊)の姉妹編ついに刊行!

不毛な論争に終止符を打つ、気鋭の歴史学者による最後の論文集!

荒れ野の六十年

東アジア世界の歴史地政学

與那覇潤 [著]

東アジアで共有できる歴史を

かつてこの理想が追い求められた時代があった。
しかし、なぜ共有したいのだろうか。

やり過ぎあうだけでは
どうしていけないのだろう。

そうした欲求は、
日清戦争の開戦から朝鮮戦争の休戦までの

『荒れ野の六十年』が残した近代の爪痕に
すぎなかったのではないか。

この地域が抱える絶望的な摩擦の根源へ、
古典と最新の研究の双方を対照して

迫った先に見えてくる、
あたらしい共存の地平とは――。

與那覇潤 (よなは・じゅん)

一九七九年生まれ。東京大学教養学部卒業。同大学院総合文化研究科博士課程修了、博士(学術)。
専門は日本近現代史。二〇〇七年から十五年にかけて地方公立大学准教授として教鞭をとり、重度のうつによる休職をへて二〇一七年離職。
業績に『翻訳の政治学』(岩波書店)、『帝国の残影』(NTT出版)。在職時の講義録に『中国化する日本』(文春文庫)、『日本人はなぜ存在するか』(集英社文庫)。共著多数。二〇一八年に病気の体験を踏まえて現代の反知性主義に新たな光をあてた『知性は死なない』(文藝春秋)を
発表し、執筆活動を再開。本書の姉妹編として、学者時代の時評と対談を中心に集めた『歴史がおわるまえに』(亜紀書房)がある。

目次

まえがき―廃墟に棲む人のために

I 西洋化のとまった世界で一同時代への提言

- 1 三つの時代と「日中関係」の終わり―今こそ読みなおす山本七平
- 2 再近世化する世界?―東アジア史から見た国際社会論
- 3 中国化する公共圏?―東アジア史から見た市民社会論

【補論I】社会の「支え方」の日中比較史

―陶徳民ほか編『東アジアにおける公益思想の変容―近世から近代へ』書評

II 歴史のよみがえりのために―古典にさがす普遍

- 4 革命と背信のあいだ―逆光のなかの内藤湖南
- 5 史学の黙示録―『新支那論』ノート
- 6 変えてゆくためのことば―二十世紀体験としての網野善彦
- 7 無縁論の空転―網野善彦はいかに誤読されたか

【補論II】社会科学にとって歴史とは何か

―久米郁男『原因を推論する―政治分析方法論のすゝめ』書評

III もういちどの共生をめざして―植民地に耳をすます

- 8 帝国に「近代」はあったか―未完のポストコロニアリズムと日本思想史学
- 9 荒れ野の六十年―植民地統治の思想とアイデンティティ再定義の様相
- 10 靖国なき「国体」は可能か―戦後言論史のなかの「小島史観」

【補論III】ノンフィクションに学ぶ、「中国化」した世界の生き抜き方

あとがき―収録作品解題

本体3,200円(+税)

四六判上製カバー装・392頁

2020年1月刊行

ISBN978-4-585-22264-4 C1020

書名	部数
荒れ野の六十年 東アジア世界の歴史地政学 與那覇潤 [著]	部
ご送付先ご住所 (通信欄)	

本体3,200円(+税)

四六判上製カバー装・392頁

2020年1月刊行

ISBN978-4-585-22264-4 C1020

パブリック・ヒストリー入門

開かれた歴史学への挑戦

菅 豊・北條勝貴 [編]

「歴史」は、誰のものか――

人びとが語り、紡いできた歴史、
そして、人びとが歴史とともに、
歴史を糧に生きていくという行為に目を向け、
学問と社会の対話を目指す「パブリック・ヒストリー」は、
いま世界的な広がりを見せている学問分野である。

歴史学や社会学、文化人類学のみならず、
文化財レスキューや映画製作等、
さまざまな歴史実践の現場より、歴史を考え、
歴史を生きたる営みを紹介。

人間と歴史との関わりを考え、
日常に活かしていくための
知識と方法を伝える貴重な一冊。

パブリック・ヒストリーを考えるための
日本初の概説書！

【编者紹介】

菅 豊(すが・ゆたか) 一九六三年生まれ。東京大学大学院情報学環・学際情報学府、東洋文化研究所教授。専門は民俗学。著書に『川は誰のものか――人と環境の民俗学』(吉川弘文館、二〇〇六年)、『人と動物の日本史3――動物と現代社会』(編著、吉川弘文館、二〇〇九年)、『新しい野の学問』の時代へ――知識生産と社会实践をつなぐために』(岩波書店、二〇一三年)などがある。

北條勝貴(ほうじょう・かつたか) 一九七〇年生まれ。上智大学文学部教授。専門は東アジア環境文化史。著書に『環境と心性の文化史』上・下(共編著、勉誠出版、二〇〇三年)、『寺院縁起の古層――注釈と研究』(共編著、法蔵館、二〇一五年)、『歴史を学ぶ人々のために――現在をどう生きるか』(共著、岩波書店、二〇一七年)などがある。

【目次】(裏面に詳細目次を掲載)

I 理論 Theories

II 実践 Practices

歴史家とは誰か? Who is the Historian?

協働 Collaboration

オーラル・ヒストリーとライティング・ヒストリー

Oral History and Writing History

ミュージアムとアーカイブズ Museums and Archives

デジタル・パブリック・ヒストリー

Digital Public History

アートと歴史映写 Art and Historiophony

【執筆者一覧】

菅豊 ● 北條勝貴 ● 中澤克昭 ● 俵木悟 ● 西村明

市川秀之 ● 及川祥平 ● 宮内泰介 ● 加藤幸治

加藤圭木 ● 金子祥之 ● 石井弓 ● 金菱清 ● 川田牧人

西村慎太郎 ● 小山亮 ● 村上忠喜 ● 後藤真

渡邊英徳 ● 塚原伸治 ● 飯田高誉 ● 青原さとし

今井友樹

本体 四、八〇〇円(+税)

A5判並製カバー装

カラー8頁+本文504頁

二〇一九年十月刊行

ISBN978-4-585-22254-5 C1021

書名	部数
パブリック・ヒストリー入門 開かれた歴史学への挑戦 菅豊・北條勝貴 [編]	部
ご送付先ご住所 (通信欄)	

本体4,800円(+税)

A5判並製カバー装・カラー8頁+本文504頁
2019年10月刊行
ISBN978-4-585-22254-5 C1021

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX ● 03-5215-9025

パブリック・ヒストリー入門 開かれた歴史学への挑戦

◆おまけ

口絵

菅 豊 ●序文 パブリック・ヒストリー——現代社会において歴史学が向かうひとつの方向性

I 理論 Theories

菅 豊 ●パブリック・ヒストリーとはなにか？

北條勝貴 ●〈ありのままの事実〉を支えるもの——近代日本における歴史実践の多様性

中澤克昭 ●プラクティカル・パストと日本史——中世歴史実践史ノート

II 実践 Practices

《歴史家とは誰か？ Who is the Historian?》

俵木 悟 ●歴史と芸——神楽の過去を発掘する／演じるという歴史実践

西村 明 ●いまに生きる、いまに生かす歴史的空間における歴史実践

——「Oターン郷土誌家」を指して

市川秀之 ●滋賀県下の字誌にみる歴史実践

及川祥平 ●〈コラム〉「武田家属将美名録」はなぜ配られたのか——ある末裔の歴史実践

《協働 Collaboration》

宮内泰介 ●「八重子の日記」をめぐる歴史実践

加藤幸治 ●更地と工事現場からの文化創造と歴史実践

——津波被災地における復興キュレーション

加藤圭木 ●朝鮮・日本の歴史認識と市民的協働

——「韓国併合」100年をめぐる日韓の運動から

金子祥之 ●〈コラム〉「歴史」を回す——オビシヤ行事とオニツキをめぐる歴史実践

《オーラル・ヒストリーとライティング・ヒストリー

Oral History and Writing History》

石井 弓 ●戦争記憶をめぐる再帰的な歴史実践

——オーラル・ヒストリーによる他者理解と自己理解

金菱 清 ●オーラル・ヒストリーの敗北宣言——想像の死者へ向けた手紙

川田牧人 ●〈コラム〉「歴史」する聖地創出

《ミュージアムとアーカイブズ Museums and Archives》

西村慎太郎 ●歴史資料の保全と地域貢献

小山 亮 ●東京大空襲・戦災資料センターを拠点とした

「東方社コレクション」をめぐる活動——共同研究の進展と成果の公開

村上忠喜 ●〈コラム〉民俗文化財に対する内部者の目線と外部者の目線

《デジタル・パブリック・ヒストリー Digital Public History》

後藤 真 ●歴史のデータは誰のものか——Digital Historyがもたらす未来とは

渡邊英徳 ●「記憶の解凍」

——資料の「フロー」化とコミュニケーションの創発による記憶の継承

塚原伸治 ●〈コラム〉歴史を刻む音楽——ある祭り囃子の「成長」

《アートと歴史映写 Art and Historiophoty》

飯田高誉 ●歴史・アーカイブズ・アートの連環

——青森EARTH(2012 超群島)／

〈2013 すばらしい新世界——再魔術化するユートピア〉

青原さとし ●映像という歴史叙述

今井友樹 ●〈コラム〉映像で文化を切り取る歴史実践の可能性と課題

——姫田忠義の映像製作

北條勝貴 ●パブリック・ヒストリアンへの道程——あとがきにかえて

島村幸一

編

琉球船漂着者の「聞書」世界

『大島筆記』翻刻と研究

アジアのなかの琉球を知るための貴重資料

宝暦十二年（一七六二）旧暦四月、薩摩へ向かう一艘の琉球船が暴風雨に遭遇し、土佐へ漂着した。

土佐藩の儒者・戸部良熙が、乗船していた琉球人潮平親雲上から聞き書きをとり、琉球側からの提出資料とともにまとめたもの、それが『大島筆記』である。優れた教養を有した二人の邂逅により纏められた本書は、琉球王府が編纂した資料では窺えない、当時の琉球人が語った貴重な情報に満ち溢れている。

漂着の次第はもとより、琉球の地誌全般、当地における文芸や言語、風俗、さらには、中国や日本など琉球を取りまく地域との交流・交叉の諸相を伝え、江戸期の琉球認識などを知るためにも貴重な資料である。

諸本のうち最も内容の備わった最善本を初めて全編翻刻、校異を付し、さらに琉球船の土佐への漂着に関する貴重資料『琉球船漂恙記』『韓川筆話（抄）』『琉球人話』を収録。

研究篇として、文献学・文学・文化史・外交史・空手史・言語学等に關する充実の論考六篇を収載した決定版。

〔目次〕

はじめに◆島村幸一

第1部 翻刻編

大島筆記（国立国会図書館所蔵）
●附録『大島筆記』に関連する資料

琉球船漂恙記（高知県立図書館所蔵）
韓川筆話（抄）（国立国会図書館所蔵）
琉球人話（安芸市歴史民俗博物館所蔵）

第2部 研究編

宝暦十二年琉球国船漂着記録
『大島筆記』諸本について◆横山學
土佐国漂着の琉球船「聞書」資料の世界

——『大島筆記』を中心に——◆島村幸一
琉球人の唐旅見聞談について◆真栄平房昭

近世における琉球人の日本漂着◆屋良健一郎
『大島筆記』をめぐる

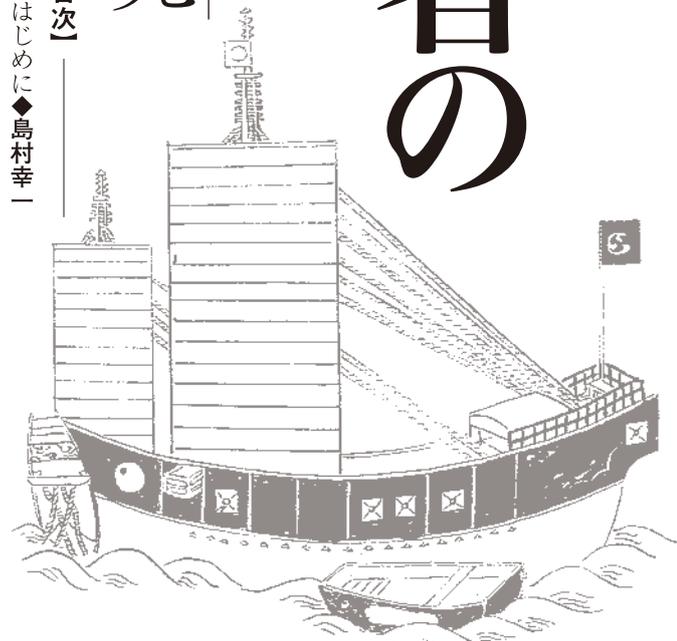
唐手の「伝来」に関する一考察◆嘉手苅徹
『大島筆記』に記された琉球語◆橋尾直和

あとがき◆島村幸一
執筆者一覧

〔編者プロフィール〕

島村幸一（しまむら・こういち）

立正大学文学部教授。専門は琉球文学、琉球文化史。著書に『おもろさうし』と琉球文学（笠間書院、二〇一〇年）、『琉球文学の歴史叙述』（勉誠出版、二〇一五年）、『おもろさうし研究』（角川文化振興財団、二〇一七年）などがある。



本体 **10,000**円(+税)
A5判上製・472頁
ISBN 978-4-585-29197-8 C3095
2020年3月刊行

<p>書名 琉球船漂着者の「聞書」世界 『大島筆記』翻刻と研究</p> <p>島村幸一 [編]</p>	<p>部数</p> <p>本体 10,000円(+税) A5判上製・472頁 ISBN 978-4-585-29197-8 C3095 2020年3月刊行</p> <p>部</p>
<p>ご送付先ご住所（通信欄）</p>	

近世・文書の保存・ 近現代 文書の保存・ 管理の歴史

佐藤孝之
三村昌司 [編]

歴史資料の継承のために――

それまでの時代に比べて内容的に多様に、量的に膨大に作成されるようになった

近世・近現代の文書・歴史資料は、

どのようにして保存され、管理されてきたのか。

現在はどうのように利用・活用されているのか。

近世は幕府や藩、村方、商家等を対象に、

明治以降の近現代は公文書、自治体史料などの歴史資料、

そして、修復やデジタルアーカイブなどの

現代的課題に焦点を当てて、

文書の保存・管理システムの実態と特質を明らかにする。

歴史研究者、アーキビスト、行政担当者など、

文書を扱うすべての人、必読の一冊。

【編者プロフィール】

佐藤孝之（さとう たかゆき）

東京大学名誉教授。専門は近世の幕領支配および村落の研究、近世史料論。主な著書に『近世駆込寺と紛争解決』（吉川弘文館、二〇一九年）など。

三村昌司（みむら しょうじ）

防衛大学校准教授。専門は日本近代史、地域歴史資料学。主な論文に、「とらえなおされる地域歴史資料——歴史資料保全活動と地域に残された歴史資料」（奥村弘編『歴史文化を大災害から守る——地域歴史資料学の構築』東京大学出版会、二〇一四年一月）など。



【目次】

序言：佐藤孝之・三村昌司

近世編

●総論 近世文書の保存・管理史研究と近世編の概要：佐藤孝之
江戸幕府右筆所日記について：小宮木代良
秋田藩の藩庁伝来文書と文書管理制度の展開：鈴木 満
大名家文書の構造と伝来過程
——高松松平家文書を中心として：胡 光

近世村方文書の保存と管理：西村慎太郎
丹波国山国郷における文書保存・管理・利用：柳澤 誠
近世住友家文書の伝来と保存・管理：末岡照啓

近現代編

●総論 近現代文書の保存・管理の歴史に関する研究と
近現代編の概要：三村昌司

公文書の保存・管理の歴史：松岡資明

明治政府の正史編纂と史料収集：松沢裕作
地域に残された歴史資料はなぜ大切か：三村昌司

地域のなかの文書館——兵庫県尼崎市の場合：松岡弘之
「ラム」公害に関するアーカイブとその活用：林 美帆

自治体史の場合——小平市史の経験を中心にして：大門正克
大規模自然災害と資料保存
——「資料ネット」活動を中心に：川内淳史

「多仁式すきはめ」について：多仁照廣
デジタルアーカイブから見る文書：後藤 真

【インタビュー】本の価値を見いだす古書店：酒井健彦

あとがき：三村昌司

本体 四、五〇〇円(+税)
A5判並製カバー装・三五三頁
二〇一九年十月刊行
ISBN978-4-585-22253-8 C1021

書名	部数
近世・近現代文書の保存・管理の歴史 佐藤孝之・三村昌司 [編]	部
本体 4,500円(+税) A5判並製カバー装・352頁 2019年10月刊行 ISBN978-4-585-22253-8 C1021	
ご送付先ご住所（通信欄）	

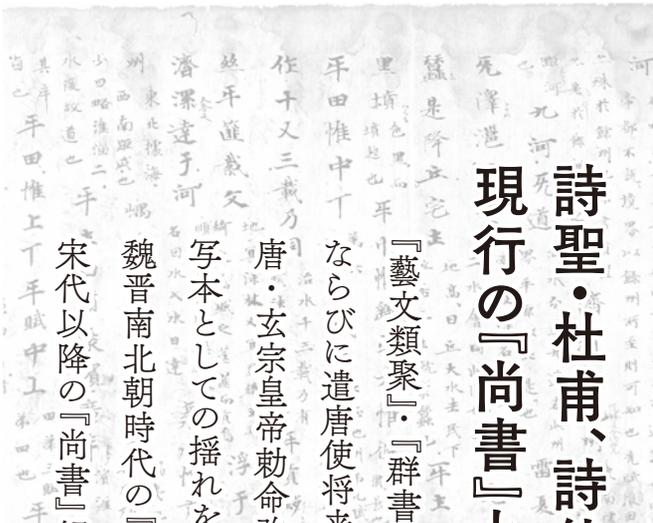
とうだい つうこう しょう しょう

唐代通行『尚書』の研究

写本から刊本へ

山口謠司 著

詩聖・杜甫、詩仙・李白が読んでいた『尚書』は、
現行の『尚書』とまったく異なるものだった！



『藝文類聚』・『群書治要』などの類書に引かれている『尚書』、
平田惟中『ならびに遣唐使将来本・敦煌本『尚書』を駆使して、
唐・玄宗皇帝勅命改字以前の『尚書』を復元。
写本としての揺れを把握することは、
魏晋南北朝時代の『尚書』を思想的に解明するだけではなく、
宋代以降の『尚書』解釈を解明するための資料となる。

目次

序文	池田知久(東京大学名誉教授)	第2章 本論
序論		一、『太平御覧』所引『尚書』攷
一、写本と刊本		二、『祕府略』紙背『尚書』攷
二、字書の改訂と訓詁の変化		三、『藝文類聚』所引『尚書』攷
三、テキストの変化と復元の問題		四、『文選』李善注所引『尚書』攷
四、顔師古『定本』と唐代通行『尚書』		五、『群書治要』所引『尚書』攷
五、現存する唐写『尚書』諸本		六、『後漢書』李賢注所引『尚書』攷
第1章 越刊八行本『尚書』攷		七、『二切經音義』所引『尚書』攷
		八、原本系『玉篇』所引『尚書』攷
		結論
		おわりに

著者プロフィール

山口謠司(やまぐち・ようじ)

1963年、長崎県生まれ。大東文化大学文学部准教授。博士(中国学)。大東文化大学大学院、フランス国立社会科学高等研究院大学院に学ぶ。専門は文献学。『日本語を作った男 上田万年とその時代』(集英社インターナショナル)で第29回和辻哲郎文化賞受賞。

本体 11,000円(+税)

A5判上製・四五〇頁

二〇一九年十月刊行

ISBN978-4-585-29187-9 C3098

書名	部数
唐代通行『尚書』の研究 ——写本から刊本へ 山口謠司 著	部
本体 12,000円(+税) A5判上製・450頁 2019年10月刊行 ISBN978-4-585-29187-9 C3098	
ご送付先ご住所(通信欄)	

ライブラリーぶっくす

司書のお仕事 2

本との出会いを届けます

[著] 大橋崇行 (東海学園大学 准教授)

本体 1,800 円 (+税)

[監修] 小曾川真貴 (犬山市立図書館司書・日本図書館協会協会認定司書)

四六判並製カバー装・207 頁
ISBN 978-4-585-20075-8 C0000
2020 年 10 月刊行

司書って、どんな仕事をしてるの？

司書課程で勉強したいと思っている中高生、大学生、社会人や、司書という仕事に興味を持っている方に向けて、司書の仕事をストーリー形式でわかりやすく伝える。



(あらすじ)

公務員試験を突破して味岡市の職員に採用された稲嶺双葉(いなみねふたば)は、味岡市立図書館で司書として勤務してはや半年、多岐にわたる業務を行う中で、日々成長していた。

ある日、同僚に展示の入れ替えの相談をするも、委託契約の業務外ということで断られてしまう。同じ職場にいても、勤務形態の違いで業務内容が大きく異なることを知り…。

【本書の特徴】

- 司書の日常を、ストーリーとコラムでわかりやすく楽しく読める。
- 「除架と除籍」、「行政支援レファレンス」等…、専門用語や業務を、現役の司書が解説。各章末には仕事にまつわるコラムを附す。

読めばわかる、司書の世界！

【目次】

はじめに

第1章 図書館の幽霊

コラム◎特別整理期間

コラム◎図書館で司書として働くには

第2章 行政と法と図書館と

コラム◎図書館とデータベース

コラム◎読書バリアフリー法

コラム◎図書館とゲーム

コラム◎図書館と地域連携事業

第3章 本と人が出会う場所

コラム◎寄贈図書

コラム◎図書館と生涯学習

コラム◎図書館での資料保存

おわりに

【著者プロフィール】

大橋崇行(おおはし たかゆき)

作家、文芸評論家、東海学園大学人文学部准教授。博士(文学)。

小説の著書に『遥かに届きよみの聲』(双葉社)、『浅草文豪あやかし草紙』(一迅社)など。

平成25年度全国大学国語国文学会「文学・語学」賞。

第1回双葉文庫ルーキー大賞受賞。

書名	部数
ライブラリーぶっくす 司書のお仕事 2 本との出会いを届けます 大橋崇行 [著] / 小曾川真貴 [監修]	本体 1,800 円 (+税) 四六判並製カバー装・207 頁 ISBN 978-4-585-20075-8 C0000 2020 年 10 月刊行
ご送付先ご住所 (通信欄)	

2020年度 日本中国学会

勉誠出版 書籍一覽

タイトル	編著者	注文数	本体価格	ISBN
【近刊】中国史書入門 現代語訳 北齊書	氣賀澤保規 監修／池田恭哉・岡部毅史・梶山智史・倉本尚徳・田熊敬之 訳		6,000	978-4-585-29612-6
【近刊】白居易研究年報 最終号	白居易研究会 編		9,000	978-4-585-07098-6
【新刊】アジア遊学 251 仏教の東漸と西漸	荒見泰史 編		2,800	978-4-585-22717-5
【新刊】書物学 第十八巻 蔵書はめぐる	編集部 編		1,800	978-4-585-20718-4
【新刊】儒教儀礼と近世日本社会	松川雅信 著		10,000	978-4-585-21056-6
【新刊】新羅中古期の史的研究	武田幸男 著		12,000	978-4-585-22278-1
【新刊】宋代中国都市の形態と構造	伊原弘 著		4,500	978-4-585-22069-5
【新刊】古代の日本と東アジア	鈴木靖民 著		10,000	978-4-585-22279-8
【新刊】司書のお仕事2	大橋崇行 著／小曾川真貴 監修		1,800	978-4-585-20075-8
【準新刊】唐代通行『尚書』の研究	山口謠司 著		12,000	978-4-585-29187-9
【準新刊】国宝 漢書楊雄伝 第五十七	京都国立博物館 原本所蔵・編／石塚晴通・上杉智英・小川貞次 解説		35,000	978-4-585-28046-0
【準新刊】パブリックヒストリー入門	菅豊・北條勝貴 編		4,800	978-4-585-22254-5
【準新刊】古文書の様式と国際比較	小島道裕・田中大喜・荒木和憲 編／国立歴史民俗博物館 監修		7,800	978-4-585-22272-9
【準新刊】近世・近現代 文書の保存・管理の歴史	佐藤孝之・三村昌司 編		4,500	978-4-585-22253-8
【準新刊】医学・科学・博物 東アジア古典籍の世界	陳捷 編		11,999	978-4-585-20072-7
【準新刊】荒れ野の六十年	與那覇潤 著		3,200	978-4-585-22264-4
【準新刊】琉球船漂着者の「聞書」世界	島村幸一 編		10,000	978-4-585-29197-8
【準新刊】描かれたマカオ Images of Macau	貴志俊彦・朱益宜・黄淑薇 編		22,000	978-4-585-22262-0
中国史書入門 現代語訳 隋書	中林史朗・山口謠司 監修／池田雅典・大兼健寛・洲脇武志・田中良明 訳		4,200	978-4-585-29611-9
全訳 封神演義 1	二階堂善弘 監訳／山下一夫・中塚亮・二ノ宮聡 訳		3,200	978-4-585-29641-6
全訳 封神演義 2	二階堂善弘 監訳／山下一夫・中塚亮・二ノ宮聡 訳		3,200	978-4-585-29642-3
全訳 封神演義 3	二階堂善弘 監訳／山下一夫・中塚亮・二ノ宮聡 訳		3,200	978-4-585-29643-0
全訳 封神演義 4	二階堂善弘 監訳／山下一夫・中塚亮・二ノ宮聡 訳		3,200	978-4-585-29644-7
完訳 楊家将演義 上巻	岡崎由美・松浦智子 訳		2,700	978-4-585-29101-5
完訳 楊家将演義 下巻	岡崎由美・松浦智子 訳		2,700	978-4-585-29102-2
楊家将演義 読本	岡崎由美・松浦智子 編		2,400	978-4-585-29103-9
武将で読む 三国志演義読本	後藤裕也・小林瑞恵・高橋康浩・中川諭 著／中塚翠涛 題字		2,700	978-4-585-29078-0
本邦における三国志演義受容の諸相	長尾直茂 著		12,000	978-4-585-29179-4
辺境から訪れる愛の物語 沈從文小説選	沈從文 著／小島久代 訳		2,800	978-4-585-29059-9
中国現代散文傑作選 1920-1940	中国一九三〇年代文学研究会 編		4,200	978-4-585-29113-8
中国モダニズム文学の世界	城山拓也 著		6,500	978-4-585-29079-7
中国現代文学傑作セレクション	大東和重・神谷まり子・城山拓也 編		9,800	978-4-585-29162-6
上海モダン 『良友』画報の世界	孫安石・菊池敏夫・中村みどり 編		6,800	978-4-585-22208-8
雲南の歴史と文化とその風土	氣賀澤保規 編		7,000	978-4-585-22178-4
中国中世仏教石刻の研究	氣賀澤保規 編		9,500	978-4-585-21012-2
中国中世四川地方史論集	中林史朗 著		10,000	978-4-585-22118-0
梁職貢図と東部ユーラシア世界	鈴木靖民・金子修一 編		8,500	978-4-585-22060-2
宋代募兵制の研究	齋藤忠和 著		6,000	978-4-585-22081-7
サマルカンドの金の桃	エドワード・H・シェーファー 著／伊原弘 監修／吉田真弓 訳		4,800	978-4-585-02082-0
中国都市の形象	伊原弘 著		3,200	978-4-585-03243-4
宋銭の世界	伊原弘 編		4,500	978-4-585-03210-6
「清明上河図」と徽宗の時代	伊原弘 編		4,500	978-4-585-27005-8
『清明上河図』をよむ	伊原弘 編		4,500	978-4-585-04056-9
謎の名画・清明上河図	野嶋剛 著		1,300	978-4-585-27011-9
故宮物語	野嶋剛 著		2,700	978-4-585-22146-3
専門図書館探訪	青柳英治・長谷川昭子 共著／専門図書館協議会 監修		2,000	978-4-585-20070-3
世界の図書館から	U-PARL 編		2,400	978-4-585-20069-7
ライトノベル史入門 『ドラゴンマガジン』創刊物語	山中智省 著		1,800	978-4-585-29149-7
知っておきたい日本の漢詩	宇野直人 著		3,800	978-4-585-29169-5
古写真・絵葉書で旅する東アジア150年	村松弘一・貴志俊彦 編		3,800	978-4-585-22207-1
老子 訳注	小池一郎 著		3,200	978-4-585-29054-4
フルカラーで楽しむ 中国年画の小宇宙	三山陵 編著		2,800	978-4-585-27016-4
日本語のなかの中国故事	小林祥次郎 著		4,200	978-4-585-28035-4
近世儒学韻学と唐音	湯沢質幸 著		8,000	978-4-585-28012-5
日韓漢文訓読研究	藤本幸夫 編		10,000	978-4-585-28015-6
日中韓思想家ハンドブック	小川晴久・張踐・金彦鍾 編		3,200	978-4-585-20037-6
宣教師たちの東アジア	中村聡 著		4,800	978-4-585-22105-0
明治・大正の日本論・中国論	藤田昌志 著		3,500	978-4-585-23046-5
浄土真宗と近代日本	川邊雄大 編		8,000	978-4-585-21032-0
字様の研究	西原一幸 著		9,800	978-4-585-28017-0
京城帝国大学の韓国儒教研究	李曉辰 著		7,500	978-4-585-21031-3
日本における中国画題の研究	張小鋼 著		9,000	978-4-585-27022-5
日明関係史入門	村井章介 編集代表／橋本 雄・伊藤幸司・須田牧子・関 周一 編		3,800	978-4-585-22126-5
東アジアにおける日本朱子学の位相	嚴錫仁 著		8,000	978-4-585-21028-3
中国書籍史のパースペクティブ	永富青地 編訳		6,000	978-4-585-29097-1
世界神話入門	篠田知和基 著		2,400	978-4-585-22165-4
フランスの神話と伝承	篠田知和基 著		1,500	978-4-585-23406-7
東の妖怪・西のモンスター	徳田和夫 編		3,800	978-4-585-23057-1
琉球 交叉する歴史と文化	島村幸一 編		8,000	978-4-585-22078-7
沖縄 島人の歴史	ジョージ・H・カー 著／山口栄鉄 訳		7,000	978-4-585-22088-6
「倭寇図巻」「抗倭図巻」をよむ	須田牧子 編		7,000	978-4-585-22139-5
清代学術と言語学	木下鉄矢 著／池田秀三 序／川原秀城 後記		7,000	978-4-585-21035-1
後漢経学研究序説	井ノ口哲也 著		10,000	978-4-585-21023-8
内藤湖南とアジア認識	山田 智・黒川みどり 編		4,200	978-4-585-22056-5
チンギス・カンとその時代	白石典之 編		3,800	978-4-585-22127-2
「周縁」を生きる少数民族	澤井充生・奈良雅史 編		6,000	978-4-585-23035-9

書誌学入門	堀川貴司 著	1,800	978-4-585-20001-7
対立する国家と学問	福井憲彦 編	2,700	978-4-585-23061-8
日本古代交流史入門	鈴木靖民・金子修一・田中史生・李成市 編	3,800	978-4-585-22161-6
貶謫文化と貶謫文学	尚永亮 著／愛甲弘志・中木愛・谷口高志 訳	13,500	978-4-585-29100-8
孝の風景	宇野瑞木 著	15,000	978-4-585-29118-3
南宋・元代日中渡航僧伝記集成	榎本 渉 著	17,000	978-4-585-21013-9
清朝宮廷演劇文化の研究	磯部 彰 編	18,000	978-4-585-29065-0
中国版画史論	小林宏光 著	25,000	978-4-585-27039-3
図説 道教医学	吉元昭治 著	50,000	978-4-585-24009-9
国宝 小川本 真草千字文	石塚晴通・赤尾栄慶 編	25,000	978-4-585-27049-2
日本「文」学史 第三冊	河野貴美子／Wiebke DENECKE／新川登亀男／陣野英則 編	3,800	978-4-585-29493-1
日本「文」学史 第二冊	河野貴美子／Wiebke DENECKE／新川登亀男／陣野英則／谷口眞子／宗像和重 編	3,800	978-4-585-29492-4
日本「文」学史 第一冊	河野貴美子／Wiebke DENECKE／新川登亀男／陣野英則 編	3,800	978-4-585-29491-7
「日中歴史共同研究」報告書 第2巻	北岡伸一・歩平 編	4,500	978-4-585-22035-0
「日中歴史共同研究」報告書 第1巻	北岡伸一・歩平 編	6,000	978-4-585-22034-3
長崎・東西文化交渉史の舞台 ポルトガル時代／オランダ時代	若木太一 編	4,000	978-4-585-22058-9
長崎・東西文化交渉史の舞台 明・清時代の長崎／支配の構図と文化の	若木太一 編	6,000	978-4-585-22064-0
漢字字体史研究 二	石塚晴通 監修／高田智和・馬場基・横山詔一 編	8,000	978-4-585-28029-3
漢字字体史研究	石塚晴通 編	8,000	978-4-585-28008-8
杜甫研究年報 第二号	日本杜甫学会 編	2,000	978-4-585-29442-9
杜甫研究年報 創刊号	日本杜甫学会 編	2,000	978-4-585-29441-2
通史と史料の間で (石井正敏著作集4)	石井正敏 著／荒野泰典・須田牧子・米谷均 編	10,000	978-4-585-22204-0
高麗・宋元と日本 (石井正敏著作集3)	石井正敏 著／川越泰博・岡本真・近藤剛 編	10,000	978-4-585-22203-3
遣唐使から巡礼僧へ (石井正敏著作集2)	石井正敏 著／村井章介・榎本渉・河内春人 編	10,000	978-4-585-22202-6
古代の日本列島と東アジア (石井正敏著作集1)	石井正敏 著／鈴木靖民・赤羽目匡由・浜田久美子 編	10,000	978-4-585-22201-9
本朝文粹抄 五	後藤昭雄 著	2,800	978-4-585-29223-4
本朝文粹抄 四	後藤昭雄 著	2,800	978-4-585-29222-7
本朝文粹抄 三	後藤昭雄 著	2,800	978-4-585-29221-0
本朝文粹抄 二	後藤昭雄 著	2,800	978-4-585-05407-8
本朝文粹抄	後藤昭雄 著	2,800	978-4-585-05367-5
アジア遊学 249 漢学とは何か	川原秀城 編	2,800	978-4-585-22715-1
アジア遊学 247 移動するメディアとプロパガンダ	西村正男・星野幸代 編	2,800	978-4-585-22713-7
アジア遊学 246 和漢のコードと自然表象	島尾新・宇野瑞木・亀田和子 編	2,800	978-4-585-22712-0
アジア遊学 245 アジアの死と鎮魂・追善	原田正俊 編	2,800	978-4-585-22711-3
アジア遊学 244 前近代東アジアにおける〈術数文化〉	水口幹記 編	3,200	978-4-585-22710-6
アジア遊学 243 中央アジアの歴史と現在	松原正毅 編	2,400	978-4-585-22709-0
アジア遊学 242 中国学術の東アジア伝播と古代日本	榎本淳一・吉永匡史・河内春人 編	2,800	978-4-585-22708-3
アジア遊学 240 六朝文化と日本	蔣義喬 編著	2,800	978-4-585-22706-9
アジア遊学 239 この世のキワ	山中由里子・山田仁史 編	3,200	978-4-585-22705-2
アジア遊学 238 ユーラシアの大草原を掘る	草原考古研究会 編	3,200	978-4-585-22704-5
アジア遊学 237 銅鏡から読み解く2~4世紀の東アジア	實盛良彦 編	2,800	978-4-585-22703-8
アジア遊学 236 上海の戦後	高綱博文・木田隆文・堀井弘一郎 編	2,800	978-4-585-22702-1
アジア遊学 235 菜の花と人間の文化史	武田和哉・渡辺正夫 編	3,200	978-4-585-22701-4
アジア遊学 233 金・女眞の歴史とユーラシア東方	古松崇志・臼杵勲・藤原崇人・武田和哉 編	3,200	978-4-585-22699-4
アジア遊学 232 東アジア古典演劇の伝統と近代	毛利三彌・天野文雄 編	2,800	978-4-585-22698-7
アジア遊学 231 中国雲南の書承文化	山田敦士 編	2,800	978-4-585-22697-0
アジア遊学 230 世界遺産パリの文化戦略	海老澤衷 編	2,800	978-4-585-22696-3
アジア遊学 229 文化装置としての日本漢文学	滝川幸司・中本大・福島理子・合山林太郎 編	2,800	978-4-585-22695-6
アジア遊学 228 ユーラシアのなかの宇宙樹・生命の樹の文化史	山口博 監修／正道寺康子 編	2,800	978-4-585-22694-9
アジア遊学 227 アジアとしてのシベリア	永山ゆかり・吉田睦 編	2,800	978-4-585-22693-2
アジア遊学 225 満洲の戦後	梅村卓・大野太幹・泉谷陽子 編	2,800	978-4-585-22691-8
アジア遊学 223 日本人と中国故事	森田貴之・小山順子・蔦清行 編	2,800	978-4-585-22689-5
アジア遊学 222 台湾の日本仏教	柴田幹夫 編	2,800	978-4-585-22688-8
アジア遊学 220 杜甫と玄宗皇帝の時代	松原朗 編	2,800	978-4-585-22686-4
アジア遊学 218 中国古典小説研究の未来	中国古典小説研究会 編	2,000	978-4-585-22684-0
アジア遊学 217 「神話」を近現代に問う	植朗子・南郷晃子・清川祥恵 編	2,500	978-4-585-22683-3
アジア遊学 215 東アジア世界の民俗	松尾恒一 編	2,800	978-4-585-22681-9
アジア遊学 214 前近代の日本と東アジア	荒野泰典・川越泰博・鈴木靖民・村井章介 編	2,400	978-4-585-22680-2
アジア遊学 210 歴史のなかの異性装	服藤早苗・新實五穂 編	2,800	978-4-585-22676-5
アジア遊学 209 中世地下文書の世界	春田直紀 編	2,800	978-4-585-22675-8
アジア遊学 208 ひと・もの・知の往来	荒木浩・近本謙介・李銘敬 編	2,400	978-4-585-22674-1
アジア遊学 206 宗教と儀礼の東アジア	原田正俊 編	2,400	978-4-585-22672-7
アジア遊学 201 中国の音楽文化	川原秀城 編	2,000	978-4-585-22667-3
アジア遊学 199 衝突と融合の東アジア文化史	河野貴美子・王勇 編	2,000	978-4-585-22665-9
アジア遊学 198 海を渡る史書	金時徳・濱野靖一郎 編	2,000	978-4-585-22664-2
アジア遊学 197 日本文学のなかの〈中国〉	李銘敬・小峯和明 編	2,800	978-4-585-22663-5
アジア遊学 191 ジェンダーの中国史	小浜正子 編	2,800	978-4-585-22657-4
アジア遊学 188 日本古代の「漢」と「和」	北山円正・新間一美・滝川幸司・三木雅博・山本登朗 編	2,400	978-4-585-22654-3
アジア遊学 187 怪異を媒介するもの	東アジア怪異学会 編	2,800	978-4-585-22653-6
アジア遊学 185 「近世化」論と日本	清水光明 編	2,800	978-4-585-22651-2
アジア遊学 184 日韓の書誌学と古典籍	大高洋司・陳捷 編	2,000	978-4-585-22650-5
アジア遊学 182 東アジアにおける旅の表象	王成・小峯和明 編	2,400	978-4-585-22648-2
アジア遊学 181 南宋の隠れたベストセラー『夷堅志』の世	伊原弘・静永 健 編	2,400	978-4-585-22647-5
アジア遊学 180 南宋江湖の詩人たち	内山精也 編	2,800	978-4-585-22646-8
アジア遊学 176 東アジア世界の「知」と学問	小島康敬 編	2,000	978-4-585-22642-0
アジア遊学 173 日中韓の武将伝	井上泰至・長尾直茂・鄭炳説 編	2,000	978-4-585-22639-0
アジア遊学 171 中国古典文学と挿画文化	瀧本弘之・大塚秀高 編	2,400	978-4-585-22637-6
書物学 第十七巻 編集文献学への誘い	編集部 編	1,500	978-4-585-20717-7
書物学 第十六巻 特殊文庫をひらく	編集部 編	1,500	978-4-585-20716-0
書物学 第十五巻 金属活字と近代	編集部 編	1,500	978-4-585-20715-3
書物学 第十四巻 贋作・偽作	編集部 編	1,500	978-4-585-20714-6
書物学 第十三巻 学問の家の書物と伝授	編集部 編	1,500	978-4-585-20713-9
書物学 第十二巻 江戸初期の学問と出版	編集部 編	1,500	978-4-585-20712-2
書物学 第十一巻 語りかける洋古書	編集部 編	1,500	978-4-585-20711-5
書物学 第十巻 南方熊楠生誕150年	編集部 編	1,500	978-4-585-20710-8
書物学 第九巻 江戸の欲望／江戸という欲望	編集部 編	1,500	978-4-585-20709-2

書物学 第八卷	国宝 称名寺聖教／金沢文庫文書	編集部 編	1,500	978-4-585-20708-5
書物学 第七卷	医書の世界	編集部 編	1,500	978-4-585-20707-8
書物学 第六卷	「書」が語る日本文化	編集部 編	1,500	978-4-585-20706-1
書物学 第五卷	洋古書の愉悦	編集部 編	1,500	978-4-585-20705-4
書物学 第四卷	出版文化と江戸の教養	編集部 編	1,500	978-4-585-20704-7
書物学 第三卷	書物とエロス	編集部 編	1,500	978-4-585-20703-0
書物学 第二卷	書物古今東西	編集部 編	1,500	978-4-585-20702-3
書物学 第一卷	書物学こと始め	編集部 編	1,500	978-4-585-20701-6

お申し込みは

Web Site●<https://bensei.jp>

FAX●03-5215-9025

E-mail●info@bensei.jp

勉誠出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-10-2
TEL 03-5215-9021

<p>ご氏名</p>	<p>備考欄</p> <p>*公費・私費の区別をお知らせください</p> <p>*公費の場合には、必要書類・宛名・日付の有無をお書きください</p>
<p>ご住所</p>	
<p>電話番号</p>	